

# 萱瀨☆物語

大村市立萱瀨小学校

学校だより 第6号

令和4年6月13日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

## 萱瀨っ子宣言(萱瀨小さいこう！)

大村公園の花菖蒲も満開、見ごろの季節になりました。

さて、先月の代表委員会（各学級の代表等が出席して話し合いを行う子供たちの会議）で子供たちが「萱瀨っ子宣言を意識して生活しよう」と話し合いを行いました。「萱瀨っ子宣言」とは、さいこうの頭文字をとって、

- さ さわやかな気持ちであいさつをしよう。
- い いやがることをしないようにしよう。
- こ ことばづかいに気をつけよう。
- う うんどうをしよう。

という4つの目標です。自分たちの学校が「最高～！」と言える子供たちは素敵ですね。保護者・地域の皆様も子どもたちの目標達成を応援してあげてください。よろしくお祈りします。

## 2年生『町たんけん』に出かけました！

5月31日（火）2年生が町たんけんに出かけました。学校の周りの町並みを散策したり、途中で出会った人たちに挨拶をしたりしながら、マルフク・交番・住民センター・郵便局・保育所・氷川神社等の施設を見学しました。氷川神社では、神主さんから話を伺うこともできました。

子供たちは見たり聞いたりしたことをまとめ探検地図を作成していきます。



## 5年生も校外学習(ふるさと学習:地域を学ぶ)に出かけました！



6月1日（水）、5年生が学校周辺の菅無田古戦場跡地や田下のキリシタン様式墓碑を見学に出かけました。

タブレットで写真を撮り学校に持ち帰り、学習に役立てていました。

## 校長室の窓から 「したくなくても、しなければならぬこと」「したくても、してはならぬこと」

教育の目的は、子供一人一人の自立にあると思います。また、自立とは、よりよき社会の形成者としての義務や責任を全うしつつ、自らの夢の実現に向かって、豊かに生きていくことだと考えます。つまり、私たち大人には、子供一人一人に、自立するための力を身に付けさせる役目があるということです。そのためには、よい意味で、子供たちを鍛えなければなりません。では、「鍛える」とはどうすることなのか？…例えば、世の中には「したくなくても、しなければならぬことがある」ことや、「したくても、してはならぬことがある」ことを正しく教え、最後までやり抜かせたり、しっかり我慢させたりすることだと思ふのです。

学校でも、目標達成を目指し、励まし取り組ませています。家庭や地域を舞台に、よい意味で、子供たちを鍛え、たくましく育てていただければと願います。

